

2005年2月28日

各位

上場会社名 ニプロ株式会社
コード番号 8086 (東証・大証 第一部)
本社所在地 大阪市北区本庄西3-9-3
代表者 代表取締役社長 佐野 實

上場会社名 中外製薬株式会社
コード番号 4519 (東証 第一部)
本社所在地 東京都中央区京橋2-1-9
代表者 代表取締役社長 永山 治

固形剤製造工場の譲渡・譲受について

ニプロ株式会社〔本社：大阪市北区、社長：佐野 實〕（以下、ニプロ）と中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区、社長：永山 治〕（以下、中外製薬）は、このたび、中外製薬鏡石工場（福島県岩瀬郡鏡石町）および同工場にて製造請負業務を行う東北中外製薬株式会社（以下、東北中外製薬）をニプロに譲渡することで合意し、本日、契約を締結しましたのでお知らせいたします。

記

【ニプロが譲受を行う理由】

ニプロは、創業以来『技術』をコンセプトとし、医療機器・医薬品・器材の各分野で生産力の増強、高機能・高品質製品の開発ならびに製品ラインアップの拡充に努めてきました。製造設備を自社開発するなどの独自技術は、医療現場のニーズを捉えたキット製剤等注射剤受託製造事業に大きく活かされ、ニプロの医薬品事業は急成長を遂げています。また、本年の改正薬事法施行を機に、今後、研究開発を指向する製薬企業においてはさらに製造委託のニーズが高まってくるものと予想されます。

このような状況下、ニプロは医療の総合メーカーを目指し、NIPRO ブランドとして世界的に認知された医療機器事業をさらに推し進めるとともに、ジェネリック医薬品事業における基盤をより強固なものにしたいとの考えから、国内で多くの実績を誇る注射剤事業に加え固形剤事業の強化も進めています。中外製薬のもとで固形剤製造について長年の実績を持つ鏡石工場を譲り受けることは、ニプロの固形剤事業強化ならびに受託製造事業の拡大による生産力増強の方針に沿うものと判断し、鏡石工場および東北中外製薬を譲り受けることとしました。

【中外製薬が譲渡を行う理由】

中外製薬は、中期経営計画『Sunrise2010』において、自社技術の維持・強化とローコストの追求を目的とした生産機能の徹底した効率化と資源の集中化を、最重要課題の一つと掲げています。鏡石工場は1946年の操業以来、中外製薬の固形剤製造の中核拠点として機能してきました。また今日までの間、品質確保と効率的な医薬品製造を推進すべく1996年に製造請負会社「東北中外製薬」を設立するなど、業界に先駆けた取り組みも積極的に展開してきました。

しかしながら本年4月の改正薬事法の施行により、今後、新薬開発型の企業にとっては、品質・技術力を備えた製造受託型企業との連携の巧拙が、生産機能の効率化に多大な影響をもたらすであろうことが予測されます。そこで改めて検討した結果、鏡石工場を、固形剤の製剤・包装機能を中心に受託製造体制の強化を図ろうとしている企業に譲渡し、その譲渡先に既存の固形剤製造を委託することが現状最善の策であるとの判断に至り、今般、ニプロへの鏡石工場ならびにその製造請負会社である東北中外製薬の譲渡を決断するところとなりました。

【譲渡対象】

- (1) 中外製薬鏡石工場の土地、建物ならびに設備
- (2) 東北中外製薬の全発行済株式

【経過・譲渡日程】

2005年2月25日	中外製薬取締役会
2005年2月26日	ニプロ取締役会
2005年2月28日	契約締結
2005年6月30日	譲渡実行(予定)

【当事会社の概要】

※但し、ニプロは2004年3月期、中外製薬は2004年12月期

ニプロ株式会社

設立	1954年
資本金	286億63百万円
売上高	連結(1,887億円) 単独(1,061億円)
経常利益	連結(95億円) 単独(78億円)
従業員	連結(8,132名) 単独(1,830名)
事業内容	医療機器、医薬品、硝子製品の製造・販売

中外製薬株式会社

設立	1925年
資本金	705億31百万円
売上高	連結(2,947億円) 単独(2,851億円)
経常利益	連結(520億円) 単独(476億円)
従業員	連結(5,327名) 単独(4,713名)
事業内容	医薬品の製造・販売・輸出入

<鏡石工場>

所在地	福島県岩瀬郡鏡石町岡ノ内428
代表者	久保木政博(鏡石工場長 兼 東北中外製薬代表取締役社長)
従業員数	158名(東北中外製薬 113名を含む)
生産品目	シグマート、アルサルミン、レナジェル、オキサロール等

以上

<本件に対するお問い合わせ先>

ニプロ株式会社	総務・広報担当	06-6372-2331
中外製薬株式会社	広報・IR部	03-3273-0881